

# 全国ろう重復障害者施設連絡協議会

## 平成30年度（通算22回） 総 会

◇期 日 2018年6月23日（土）～6月24日（日）

◇会 場 埼玉会館 7A会議室

◇交流会会場：

◇1日目（6月23日）

13：30～

受 付

14：00

開 会

14：15～15：45

行政説明（質疑応答含む）

テーマ：「障害者保健福祉施策の動向（予定）」

講 師：厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部  
企画課自立支援振興室 秋山専門官

15：15～

休 憩

15：30～17：00

講 演：「施設商品のコンプライアンスについて」

講 師：高田 かおり氏

18：00～20：00

夕食交流会

◇2日目（6月24日）

9：30～10：45

各自で「埼玉会館」に移動

情報交換

副題「今回の報酬改定と次回の報酬改定に向けて」

10：45～

平成30年度定期総会

第1号議案 平成29年度活動報告

第2号議案 平成29年度収支決算、監査報告

第3号議案 平成30年度活動計画（案）

第4号議案 平成30年度収支予算（案）

11：30

閉 会

## (総括と方針)

平成 29 年度 (2017 年) は、会員施設と連携しながら 6 月に総会開催、10 月に施設長会議、12 月、2018 年 1 月、2 月に各種研修の開催、また、12 月に厚生労働省と情報交換及び要望懇談会を行ないました。

平成 29 年度 (2017 年)、50 を超える会員施設の事業所運営の実態を把握するべく基礎データ調査を初めて行ないました。

全国の中で絶対数が少ない聴覚・ろう重複障害を対象とした会員施設が福祉の谷間におかれることなく、今後ろう重複障害者の通所施設、入所施設等の政策充実をめざすため、基礎データ調査を行い、あらゆる場において活用していくために、今後も毎年実施していく予定です。調査では、平成 30 年度障害福祉サービス報酬改定に向け、会員施設の視覚・聴覚言語障害者支援体制加算の取得率などを算出し、それらを根拠に厚生労働省へ要望活動を行なってまいりました。調査結果を分析し、要望活動に最大限に活かすことができたのは大きかったと考えています。

特に視覚・聴覚言語障害者支援体制加算についても国保連のデータ (平成 28 年 12 月) によると取得率は低い数字になっていますが、ろう重複障害者の専門施設がごく限られた数で会員施設の内 90% 超える事業所が算定し、高い取得率であるとともに専門性の必要性が高いことが現れていると厚労省との懇談会において維持を強く求めました。また、全日本ろうあ連盟をはじめ関係団体とともに統一要望を 2017 年 7 月 19 日に厚生労働省担当部署と意見交換を行いました。

他に障害福祉サービス等報酬改定検討チームにおいて通所系施設の食事提供体制加算について廃止案が提案され、障害関係団体は驚き、大きな不安を抱えました。当協議会としても、要望懇談会の際に経過措置の維持を求めるとともに、NPO 法人日本障害者協議会からの呼びかけにより「食事提供体制加算に対する緊急要望書」を当協議会としても厚生労働省に提出しました。多くの障害関係団体が国への働きかけが行われた結果、12 月 20 日、食事提供体制加算の継続が決まりました。しかし、経過措置の在り方の見直しが次期報酬改定に行われるのは必須であるため、今後も注視していきます。

調査研究・研修部では、ろう重複障害者支援ガイドブックの基本構成等を検討してまいりました。各種研修会においても「ろう重複障害」の支援の専門性に特化した研修をおこない、学習交流を深めることができました。引き続き、顔がみえる関係作りを大切にしていきます。

平成 30 年度は、総会や各種研修、厚生労働省との懇談を実施するとともに、以下の通り行ないます。

- ① 平成 30 年度障害福祉サービス報酬改定では成果主義が色濃く打ち出され、事業所間の格差も懸念されています。会員施設がどのような影響を受けているのかも含め、基礎データ調査を基に要望活動につなげます。
- ② ろう重複障害者支援ガイドブック発行の具体化に向け助成金の活用も含め検討していきます。
- ③ 平成 29 年度に実施できなかった協議会の宣言文 (趣旨書) 作成を検討します。
- ④ 厚生労働省における平成 30 年度障害者総合福祉推進事業の『聴覚障害と他の障害を併せ持つためにコミュニケーションに困難を抱える障害児・者に対する支援の質の向上のための検討』について、群馬大学教育学部教授の金澤貴之先生を中心とした研究活動に当協議会としても携わってまいります。

最後にろう重複障害者は、聴覚障害に加えて他の障害をあわせ持つことより更に複合的に困難な状況に置かれている場合があること、他の障害者とは異なる支援の必要性があることに留意し、行政などに理解と支援の必要性を啓発していきます。



平成 29 年度総会の様子

## 第1号議案 平成29年度活動報告について

平成29年度活動報告を以下のとおり提案し、承認を求めます。

### 1. 会議・研修等

#### (1) 平成29年度（第21回目）総会の開催

- ◇期 日：平成29年6月24日（土）～25日（日）
- ◇主 管：ふれあいの里どんぐり
- ◇会 場：さいたま市文化センター（埼玉県）
- ◇内 容：平成28年度活動報告および収支決算、監査報告  
平成29年度活動計画および収支予算  
会則改定  
第11期（平成29～30年度）役員改選



#### (2) 第20回施設長会議

- ◇期 日：平成29年10月7日（土）～8日（日）
- ◇会 場：静岡県静岡市
- ◇主 管：ありんこの里
  - ①25名（19施設）
  - ②講演：「障害のある人の就労とくらしを支えるために」  
～福祉的就労をいかに向上させていくか～  
講師：奥西利江氏（社福）維雅幸育会ふっくりあモオンマール管理者
  - ③ろう重複障害者への支援実践の報告  
ありんこの里（就労継続支援B型事業所）



#### (3) 役員会

##### ア 第1回役員会

- ◇期 日：平成29年4月21日（金）
- ◇会 場：日本財団ビル（東京都）
- ◇参加者数：4名
- ◇内 容：1. 役員体制について（部の合併も含む）  
2. 総会について  
3. 調査研究の進捗について  
4. その他（施設長会議等）

##### イ 第2回役員会

- ◇期 日：平成29年6月24日（土）
- ◇会 場：さいたま市文化センター（埼玉県）
- ◇内 容：1. 施設長会議について  
2. 厚生労働省の要望について  
3. 調査研究について

##### ウ 第3回役員会

- ◇期 日：平成29年10月7日（土）
- ◇会 場：静岡県静岡市
- ◇内 容：1. 施設長会議の確認について  
2. 基礎データの集計について

3. 厚生労働省への要望について
4. 前文について
5. ガイドブックの基本構成について
6. その他（次年度の総会、施設長会議）

(4) 事務局

- ア 協議会の HP 管理 <http://tukusi.org/zenrou.html>
- イ 会員施設へ連絡や情報発信
- ウ 厚生労働省との懇談
  - ◇期 日：平成 29 年 12 月 15 日（金）
  - ◇会 場：厚生労働省
  - ◇内 容：懇談、情報交換
  - ◇出席者：会長 渡邊健二 副会長 河合めぐみ
- エ 日本聴力障害新聞年賀広告掲載

(2) 関係機関・団体との連携

- ア 平成 29 年度全国盲重複障害者福祉施設研究協議会施設長セミナー
  - ◇期 日：平成 29 年 6 月 8 日（木）
  - ◇会 場：パレスホテル立川（東京都）
  - ◇出席者：副会長 河合めぐみ
- イ 全国聴覚障害者情報提供施設協議会第 13 回（通算 25 回）施設大会
  - ◇期 日：平成 29 年 6 月 8 日（木）
  - ◇会 場：ホテルレイクビュー水戸（茨城県）
  - ◇祝電
- ウ 第 65 回全国ろうあ者大会・開会式典
  - ◇期 日：平成 29 年 6 月 4 日（日）
  - ◇会 場：福岡国際センター（福岡県）
  - ◇出席者：会長 渡邊健二
- エ 「第 21 回全国聴覚障害者福祉研究交流集会」協賛
  - ◇期 日：平成 29 年 11 月 25 日～26 日
  - ◇会 場：埼玉県県民活動総合センター（埼玉県）
- オ 社会福祉法人全国手話研修センター評議員会
  - ◇期 日：平成 29 年 6 月 17 日（土）
  - ◇会 場：全国手話研修センター（京都府）
  - ◇調査研究・研修部部长 木村公之
  - ◇任 期：平成 30 年 2 月 19 日～
- カ 全日本ろうあ連盟「福祉基本政策検討プロジェクトチーム」
  - ◇期 日：平成 29 年 4 月 28 日（金）、2 月 22 日（木）
  - ◇会 場：京都市聴覚言語障害者センター（京都府）
  - ◇出席者：調査研究・研修部部长 木村公之
- キ 厚生労働省との 5 団体統一要望懇談会
  - ◇期 日：平成 29 年 7 月 19 日（水）
  - ◇会 場：厚生労働省
  - ◇出席者：副会長 木村公之

- ク 食事提供体制加算に対する緊急要望  
◇期 日：平成 29 年 12 月 11 日（月）  
◇提出先：厚生労働省  
NPO 法人日本障害者協議会からの呼びかけにより
- コ 「お茶の京都 ノウフクマルシェ 2018」後援  
◇期 日：平成 30 年 3 月 18 日  
◇会 場：京田辺市立中央公民館（京都府）

## 2 専門部活動報告

### (1) 調査研究・研修部

- ア 「聴覚・ろう重複障害者支援」にかかる留意点等のガイドブックの基本構成づくりについて  
意見交換
- イ 基礎データ調査の実施
- ウ 第 21 回主任指導員会議  
◇期 日：平成 29 年 12 月 16 日（土）～17 日（日）  
◇会 場：関空ジョイテルホテル（大阪府）  
◇主 管：なかまの里  
①20 名  
②講演：「ろう重複協の歩み」「主任の役割と求められるもの」  
講師：佐藤修氏（社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会 専務理事）  
③各施設からの現状と課題についてのディスカッション
- エ 第 18 回全国福祉施設聴覚障害者研修会  
※全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会との共催  
◇期 日：平成 30 年 2 月 3 日（土）～4 日（日）  
◇会 場：青梅市福祉センター（東京都）  
◇主 管：たましろの郷  
①32 名  
②講演：「福祉制度の現状と課題」  
講師：南宮 由和氏（社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会理事長）  
③ワークショップ

### (2) 小規模対策部

- ア 第 14 回小規模施設学習交流会  
◇期 日：平成 30 年 3 月 10 日（土）～11 日（日）  
◇会 場：大和郡山市民交流館（奈良県）  
◇主 管：いっぽの家  
①19 人（6 施設）  
②講演：「我が事・丸ごと地域共生社会は何をめざすのか」  
講師：塩田千恵子氏（きょうされん常任理事・アクティビティセンターひびき所）  
③講演：「ろう重複障害のある方々との係わり合いから見えてきたもの」  
講師 松崎 丈氏  
（宮城教育大学特別支援教育講座聴覚・言語障害教育コース准教授）  
④レポート

ループ歩・まつぼっくり「現在の「まつぼっくり」に至るまで。そして今」  
 湖北みみの里「湖北みみの里ができるまで。そして今」

⑤各作業所の意見交換

第2号議案 平成29年度収支決算について

平成29年度収支決算を以下のとおり提案し、承認を求めます。

平成29年度全国ろう重複障害者施設連絡協議会収支決算書					29年4月1日～30年3月31日 単位:円
収入の部					
科目	平成29年度予算額	平成29年度決算額	増減額	備考	
(1)会費収入	500,000	502,000	2,000	29年度会員(53施設 未収7施設)	
(2)寄付金収入	0	0	0		
(3)事業収入	0	0	0		
(4)雑収入	100	6	▲94		
受取利息収入	100	6		貯金利息	
雑収入	0	0			
(5)前期繰越金	770,970	770,970	0	平成28年度繰越金	
合計	1,271,070	1,272,976	1,906		
支出の部					
科目	平成29年度予算額	平成29年度決算額	増減額	備考	
(1)事業費支出	270,000	245,000	25,000		
総会	60,000	60,000			
施設長会議	60,000	35,000			
主任指導員会議	60,000	60,000			
小規模学習交流会	60,000	60,000			
聴障職員研修会補助金	30,000	30,000			
(2)調査研究費	50,000	0	50,000		
(3)会場費	20,000	0	20,000		
(4)旅費交通費	250,000	146,620	103,380		
役員会	100,000	68,320		役員の旅費等	
渉外	150,000	78,300		厚労省要望等に伴う旅費	
(5)事務通信費	50,000	31,133	18,867	切手、資料印刷代等	
(6)雑費	60,000	26,456	33,544	祝い金、電報、振込手数料等	
(7)予備費	571,070	823,767	▲252,697		
合計	1,271,070	1,272,976	▲1,906		
収入 1,272,976	—	支出 1,272,976	=	0	

平成 29 年度監査が実施されましたので、監事の報告求めます。

### 監 査 報 告 書

1 監査事項

平成 29 年度全国ろう重複施設連絡協議会実施事業ならびに平成 29 年度会計収支決算について

2 監査報告

監査の結果、事業は適正に実施され、会計収支決算についても証票書類に照らし監査した結果、正確に処理されていることに相違ありません。

平成 30 年 6 月 20 日

全国ろう重複障害者施設連絡協議会

監 事 沖本 浩美 

### 監 査 報 告 書

1 監査事項

平成 29 年度全国ろう重複施設連絡協議会実施事業ならびに平成 29 年度会計収支決算について

2 監査報告

監査の結果、事業は適正に実施され、会計収支決算についても証票書類に照らし監査した結果、正確に処理されていることに相違ありません。

平成 30 年 6 月 21 日

全国ろう重複障害者施設連絡協議会

監 事 齋島 健三 

